

ヤマハエレクトーンB-5の手引

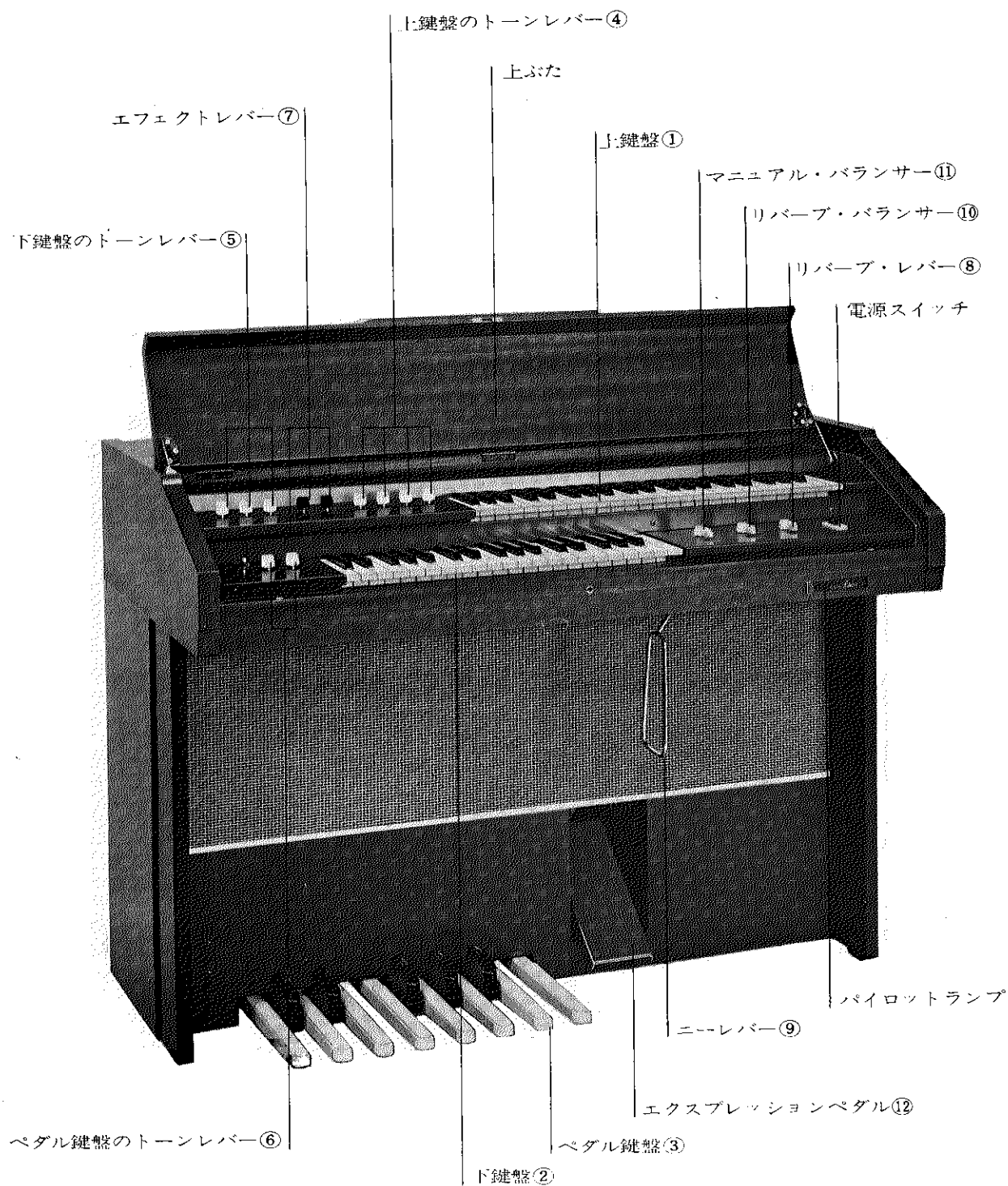


ヤマハエレクトーンB-5は、デラックスなホームタイプとして、小型で最大の効果が得られるよう設計されています。音色は巾広く、やわらかな美しさを持ち、音量豊かに響きわたります。さらに、リバーブレーション（残響効果）が備えられ、変化に富んだ演奏が楽しめるようになっています。トーンレバーやエフェクトレバーをいろいろに使って、さあ、心ゆくまで演奏をお楽しみください。

目次

エレクトーンB-5の外観と各部名称	2
トーンレバー・エフェクトレバーのご使用法	4
トーンレバーについて	5
エフェクトレバーについて	6
баланサーについて	6
エレクトーンB-5の音域表	7
エレクトーンB-5を弾くために	8
姿勢について	9
タッチについて	10
エレクトーンB-5の効果	11
(1)音色の効果	11
(2)マンドリン効果	12
(3)ビブラート効果	12
(4)リバーブ効果	12
エレクトーンB-5練習曲	13
付属品について	17

エレクトーンB-5の外観と各部名称



鍵盤①②③

①上鍵盤 (Upper Manual 略して U.M.)

音域：f～c^{'''} 3 オクターブ半

②下鍵盤 (Lower Manual 略して L.M.)

音域：C～c^{''} 3 オクターブ

③ペダル鍵盤 (Pedal 主としてベースパート)

音域：C～c 1 オクターブ

以上3つの鍵盤が、メロディとハーモニーとベースを受け持ちます。

トーンレバー④⑤⑥ (白いレバー)

エレクトーンの音色をきめるレバーです。これは一種の音量調節レバーともいえましょう。次項でさらにくわしくご説明いたします。

エフェクトレバー⑦ (黒いレバー)

トーンレバーできめた音に、いろいろな効果をつけるためのレバーです。くわしくは次項をごらんください。

ニーレバー⑧

残響効果をつけるためのレバーです。⑧のリバース・レバーと共同で作用するものですが、くわしくは次項をごらんください。

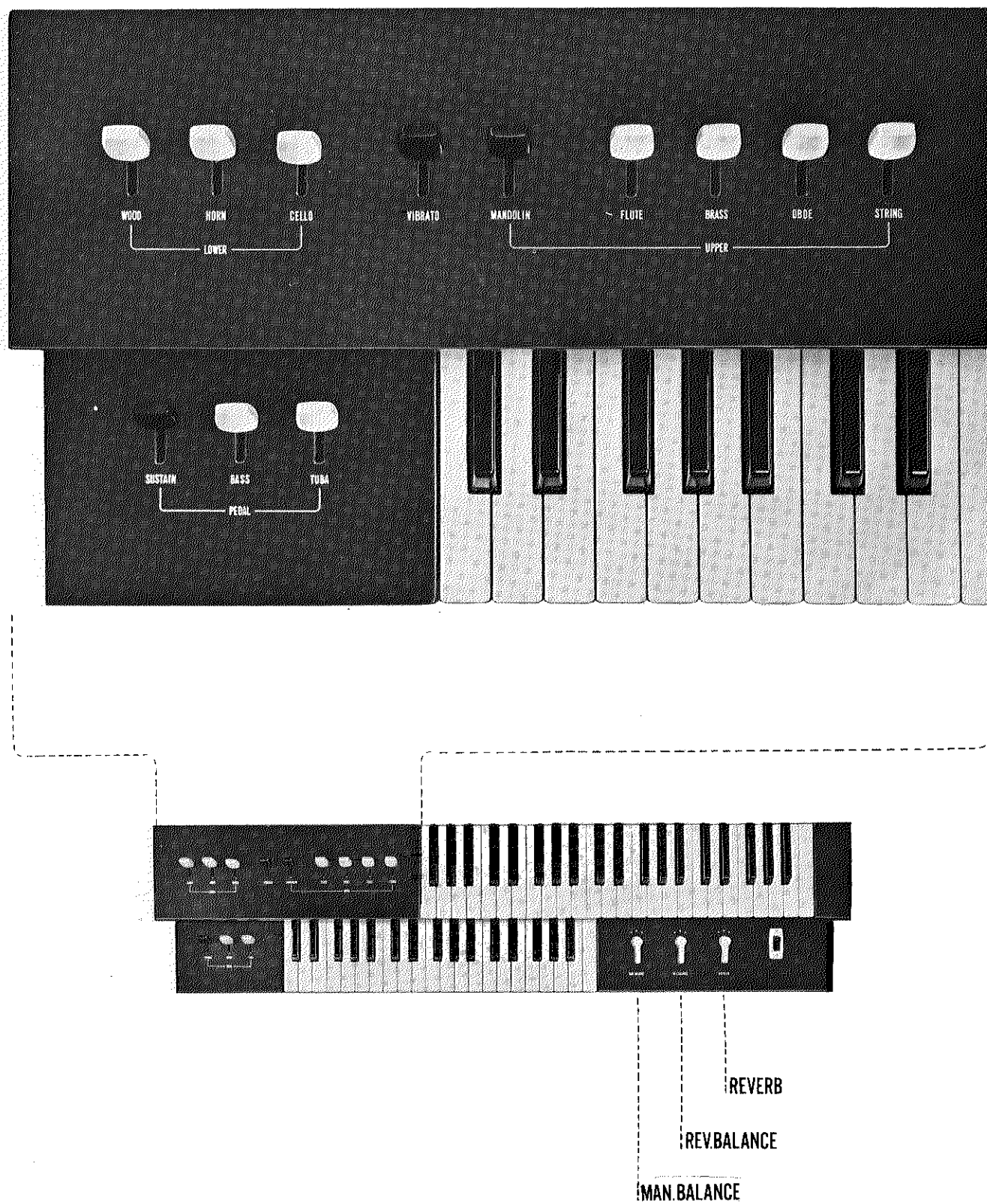
balanサー⑩⑪

⑩のリバース・balanサーは、上下鍵盤のリバース効果のbalanをとるためのもの。⑪のマニュアル・balanサーは、上下鍵盤の音の強さのbalanをとるためのレバーです。

エクスプレッションペダル⑫

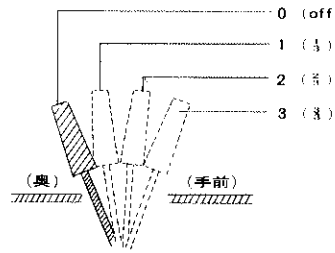
エレクトーンの鍵盤はピアノのそれと違い、強くたたいたり、押したりしても、出る音の大きさは変わりません。ところが音楽では、音の強弱はきわめて大切なものですから、どうしても、音を大きくしたり小さくしたりして、表情をつけるしかけが必要になります。これがエクスプレッションペダルです。踏みこめば音が大きく、戻せば小さくなります。これは必ず右足で踏んでください。

トーンレバー・エフェクトレバーのご使用法



トーンレバーについて

トーンレバーの入れ方は、図のように3段階にわかれていて、音量の調節ができるようになっています。譜面では、トーンレバーの入れ方は、このクリックストップの位置 (0, 1, 2, 3) で示されています。



- 0はトーンレバーを上げたままの状態、このときはOFFになっています。
- 1はトーンレバーを1段引いた状態。
- 2はトーンレバーを2段引いた状態。
- 3はトーンレバーを全部引いた状態。

なお、ペダルサステインとマンドリンレバーは、ON、OFFのいずれかです。

上鍵盤のトーンレバー

FLUTE (フルート) 上列の左から6番目の白いレバーです。木管楽器系の音で、最も倍音が少なく、おとなしい感じの音です。

BRASS (ブラス) 金管楽器の音です。倍音の入り方に特長があり、鋭い感じの明るい音になります。

OBOE (オーボエ) ダブルリードの楽器、たとえばオーボエなどのような響きを持っています。

STRING (ストリング) 弦楽器のずっと高い倍音までが豊富に含まれた、豊かな音色です。

下鍵盤のトーンレバー

WOOD (ウッド) 上列のいちばん左のレバーです。フルートと同じような単純な音ですが、いくらか倍音が入って、やや明るい感じになっています。

HORN (ホルン) ホルンの音には特に強調された倍音はありません。しかし、一定の比例で弱まりながらも、ずっと高い倍音までが含まれているという特長があります。そのため、くせのない豊かな音になっています。

CELLO (チェロ) ホルンに比べるとやや倍音が強調されており、やわらかいチェロのような音です。

ペダル鍵盤のトーンレバー

BASS (バス) 基音が強く、倍音の少ない音です。

TUBA (チューバ) バスにくらべて倍音が強調されています。

エフェクトレバーについて

VIBRATO (ビブラート) 各トーンレバーにビブラートをつけるためのレバーです。手前に引くにつれて深いビブラートがかかり、音にいきいきとしたやわらか味が加わります。ビブラートは上、下、ペダルの3つの鍵盤に有効です。

MANDOLIN (マンドリン) 音がこまかく断続するようになり、マンドリンのような特別の効果を出します。これは上鍵盤にのみ作用します。

SUSTAIN (ペダルサステイン) 音が自然に減衰して、ちょうどコントラバスのピチカートのような効果が出ます。これはペダル鍵盤のみに作用します。

REVERB (リバーブ) リバーブとは残響効果のことで、このレバーを入れると、音が広い室内で聴くような残響を持つようになります。レバーを左端にセットするとOFFになり、右(時計の針の進行方向)にまわすにつれて残響が長くなります。ふつうこれはニーレバーと共同で作用するもので、単独では効果はあらわれません。なお、このレバーのみでリバーブ効果を得たいときは、ニーレバーを倒してください。上鍵盤、下鍵盤への効果のバランスは、リバーブ・ balanサーで調節します。

ニーレバー 前述のリバーブレバーでセットした残響効果は、このレバーを右ひぎで外側に押すことによって得られます。ただしこれを倒しておけば、リバーブレバーのみで効果が得られます。

balanサーについて

REV. BALANCE (リバーブ・バランス) 上下鍵盤へのリバーブ効果のバランスをとるためのレバーです。右にセットすると上鍵盤に、左にセットすると下鍵盤に、強く効果があらわれます。このレバーは、リバーブレバーがONのときにのみ有効です。

MAN. BALANCE (マニュアル・バランス) 上鍵盤と下鍵盤の音量のバランスをとるためのレバーで、ふつうは真中にセットしておきます。しかし、たとえば上鍵盤がメロディを弾き、下鍵盤が伴奏の役をはたしているようなときなど、どうも下鍵盤の音が強すぎると感じたら、これを右にまわしてバランスをとってください。逆に下鍵盤の音を強めたいときには、左にまわします。

エレクトーンB-5音域表

上鍵盤

下鍵盤

ペダル鍵盤

440サイクル調律の基準

The diagram illustrates the pitch bending of an electronic organ keyboard. It shows three keyboard sections: the upper keyboard (上鍵盤), lower keyboard (下鍵盤), and pedal keyboard (ペダル鍵盤). The upper keyboard has 48 keys, and the lower keyboard has 24 keys. The pedal keyboard has 12 keys. A musical staff below the keyboards shows the pitch of each key as it is bent. The upper keyboard keys are bent upwards, while the lower and pedal keyboard keys are bent downwards. A vertical dashed line indicates the 440-cycle tuning reference point (440サイクル調律の基準), which is aligned with the C key in the upper keyboard.

エレクトーンB-5を弾くために

さあエレクトーンを弾いてみましょう。コードをコンセントに差しこんで、楽器の前にすわってください。メインアンプが暖たまるまで、ちょっと待ってから演奏を始めましょう。



姿勢について

エレクトーンの演奏姿勢はピアノを弾く場合と似ていますが、かなり違ったところもありますのでご注意ください。

まず楽器の中心に正対して、いすの前半分に腰かけます。力をぬいて楽な姿勢をとってください、上体はまっすぐにして、両手が上下鍵盤の端から端までを楽に弾けるような姿勢をとり、ヒザからは自然にブラ下がるような感じにしておきます。

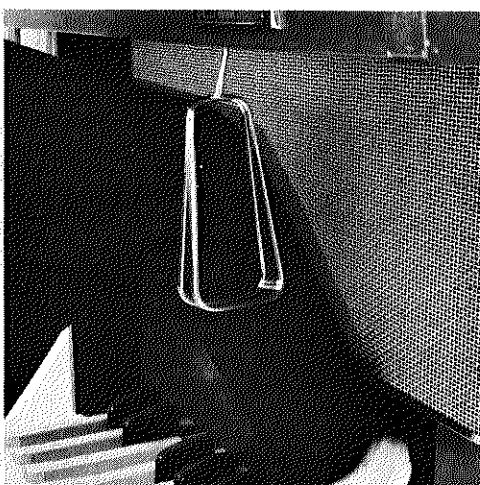
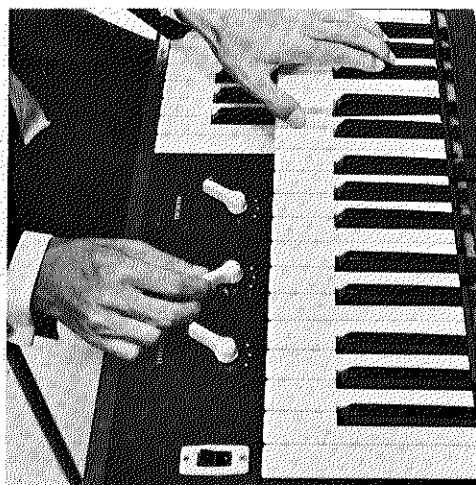
左足 足首の力を抜いて、自然につま先が下がる角度で軽くペダル鍵盤の上におきます。つま先が黒鍵のわずか手前になるようにしてください。この際、左ヒザと上腿が自由に左右に動けるようにしておきます。

右足 足底を全部エクスペッションペダルにのせ、いっばいにふみこんだときと、全部上げたときと、その間の動きが自由にできるようにしてください。

正しい姿勢がとれたら、まず右手で鍵盤を押さえながら、トーンレバーとエフェクトレバーを入れましょう。

こんどはリバーブレバーやマニュアル balancer を合わせます。

リバーブをつけたいときは、右ヒザでニールレバーを外側へ押してください。



ペダル鍵盤はこわがらずに演奏しましょう。左足を足首の力を抜いて、すべらすように動かします。すわる位置を同じにすれば、いつも同じ形で同じキーを弾けるようになります。音程の違いは耳で聞いてなおせるのですから、はじめから足をみないで練習するようにしましょう。

音の強弱、つまり音楽の表情は、右足でエクスプレッションペダルを踏んでつけます。踏み込みを多くするにつれて音が強くなり、戻すにつれて弱くなります。また、急激に踏み込めばアクセントになります。音楽の自然な流れにそって、わざとらしく感じない程度につけてください。

さあ、どんどん弾きましょう。すぐに上手になります。エレクトーンのタッチはピアノとは少し違いますが、くわしくは次項をごらんください。

タッチについて

今までピアノを弾いていた人がエレクトーンを弾いてみて、ちょっととまどうのはタッチの違いでしょう。特にレガートとスタカートの弾き方が少し違います。その違いに注意して、早くエレクトーンのタッチに慣れてください。

レガートの場合

ピアノの場合は、キーをたたいてから、キーが下がり切ったあたりでハンマーが弦をたたきます。つまり弾く動作よりある程度おくれて音が出ているのです。ところがエレクトーンは、キーを少し押し下げただけで音が出ます。つまり音の出が早いのです。そしてキーをはなす瞬間まで同じ強さの音が続いています。ですからエレクトーンをピアノ式のレガートで弾くと、音の前後が重なってしまいます。また、あまり短かめに弾いても、はなした瞬間に音が切れてしまいます。従って、切れないように次に押す音の準備をするため、いろいろなテクニックが必要になってきます。特によく使われる次のテクニックを覚えてください。

1. 指かえ あるキーを押している間に、そのキーを別の指で置きかえる奏法です。次の練習をしてみましょう。



㊦前の指を次の指に変えるときになるべく早くかえ、後の指でのばすようにする。

2. 指くぐり キーを押している指の下を別の指がくぐって、次のキーを押す奏法です。

練習



㊦くぐされた指がはなれるときに注意

3. 同音打鍵 同じ音を続けて打つ場合には、指を完全にあげずに、音が切れたらすぐに打ち直すように練習しましょう。

スタカートの場合

スタカートにもまた、同じような違いがあります。ピアノではふつうキーを打ち逃げするので、音は一瞬だけであとは固有の減衰をします。ところがエレクトーンでは、キーを押す時間によって音の長さが変えられます。つまり、いろいろな程度のスタカートが使いわけられるのです。実際に弾いてみて、その違いをたしかめてください。

附属品について

エレクトーンB-5には次のような附属品がついています。用途に応じて有効にご利用ください。

トーンボード トーンレバーの入れ方をあらかじめセットして、これを型紙にとったものです。トーンレバーの操作に慣れない方は、これをはめこんでセットしてください。

イヤホン 鍵盤の下側についているイヤホンジャックにこれを接続すれば、音が外部に出なくなります。たとえ深夜でも、心ゆくまで演奏ができます。

キークリーナーセット 鍵盤をつねに美しく保ってください。

解説書、手引、曲集、記譜法 エレクトーンB-5を正しく、楽しくご使用いただくために、十分にご活用ください。

エレクトーン教室へのおさそい

エレクトーンの演奏をはやくマスターするために、ヤマハエレクトーン教室にご入会なさいませんか？

お子さまでも、楽譜の読めない方でも、楽しく短い期間で基本的なテクニックを身につけられるよう、独自のシステムでお教えしています。ピアノを弾ける方には、さらに高度な指導法をもって、和声、編曲、演奏のテクニックをご指導いたします。

全国の主なエレクトーン教室の所在地

札幌日楽センター	札幌市南二条西三丁目……………TEL (23) 9305
仙台センター	仙台市大町4-182……………TEL (25) 6541
渋谷センター	東京都渋谷区中通り3-50 名取ビル…TEL (402)0093~4
池袋センター	東京都豊島区池袋東1丁目……………TEL (981)5271~5
錦糸町センター	東京都墨田区江東橋4-32 東亜ビル…TEL (633) 4545
立川センター	立川市錦町1-16……………TEL (2) 6960
横浜センター	横浜市西区南幸町1-4 浜西ビル…TEL (44) 8345
千葉センター	千葉市新町313-2 京王商事ビル……………TEL (2) 6229
高岡センター	高岡市下関布施365 読売文化会館3階…TEL (3) 4664
浜松センター	浜松市鍛冶町122 ………………TEL (2) 7101
名古屋ミュージックセンター	名古屋市中区広小路通2-1……………TEL (201) 5141
かがみやセンター	名古屋市中区南大津通り1-1……………TEL (241) 9918
池下店センター	名古屋市千種区覚王山通り7-20……………TEL (751) 9100
梅田センター	大阪市北区曾根崎中1-71 曾根崎ビル…TEL (312) 4095
高島屋センター	大阪市南区灘波新地6-4高島屋百貨店4階TEL (631) 1101
豊中センター	大阪府豊中市本町1-165 新豊中ビル3階…TEL (52) 0023
八尾センター	大阪府八尾市山本町1-86 平野ビル3階…TEL (2) 7070
堺センター	大阪府堺市中瓦町2-78 博愛ビル5階 ……TEL (3) 2420
元町センター	神戸市生田区元町2-188 ………………TEL (39) 3151
広島店センター	広島市本通り2丁目……………TEL (21) 4527
四国センター	高松市丸亀町8-7 ………………TEL (2) 6064
小倉センター	北九州市小倉区大阪町9-44 九興ビル…TEL (52) 2766
天神センター	福岡市天神町1 同和ビル7階……………TEL (75) 6084
ヤマハエレクトーンセンター	東京都中央区銀座7-1……………TEL (572) 3111(内)462~4



日本楽器製造株式会社